

応募者名	富山大学、富山県立大学、株式会社日本オープンシステムズ	分野	企業の生産性向上
取組名称	産学連携クロスオーバーシステム「Ocket」WEBサービス	取組地域	北陸3県（富山県、石川県、福井県）

概要	
取組内容	地方創生において、地方民間企業の活性化は必須である。その鍵となるのは、大学をはじめとする教育・研究機関が持つシーズの利活用（産学連携）である。しかし、地方民間企業から見たとき、大学との接触のために要する労力が大きく、マッチングまでたどり着けないことが多い。そこで、企業側からニーズを大学へ一斉送信し、その後はチャットで大学と質疑を行うことで、マッチングの機会を高めるウェブ上のシステムを開発した。このシステムを通じて、企業の社員に対して大学教員による栄養学や英語教育の講座が開かれたり、学生と企業で実証実験が行われたりしている。これにより、地域企業の課題の解決に貢献している。
実績や効果	これまでに、19件の企業ニーズが発信された。特に工学・建築分野での案件が34%を占め、共同研究やアドバイスの形態での協力募集が多く見られた。発信された案件には大学から合計84件の反応があり、147回のチャットと7回の対面面談を経て、3件の産学連携が実現した。
取組全体を通じて訴えたいポイント	大学等の教育・研究機関のリソースを活用する産学連携は、企業の競争力強化や組織活性化に有効だが、ハードルが高いとされている。Ocketは秘密保持を前提に、複数の大学等に企業ニーズを一斉送信し、関心を示した複数の大学等と同時並行で気軽にチャットで意見交換や質疑応答ができる新しいシステムである。

詳細	
地域の課題解決・魅力向上	当社地元である北陸3県（富山・石川・福井）において、大学等の教育・研究機関と産学連携の経験が少ない中小企業を対象に、企業の課題を地元の教育・研究機関とインターネットを通じて気軽に相談・解決するきっかけを作った。これにより、地域企業の活性化と地域大学からの新卒採用拡大も図っている。
独自性・先進性	産学連携のマッチングは多数あるが、企業が当初は匿名でニーズを発信し、複数の教育・研究機関が受信して関心表明をするインターネットシステムは他にない。チャットを利用することで気軽に面談前の質疑ができ、北陸3県を対象にすることで地域に根付いた連携を見込んでいる。
持続性・発展性	インターネットサービスとすることで通年での利用が可能で、システムをクラウド上に開発することで全国展開も容易である。開発費は当社が負担し、運用費のみを使用者で広く薄く負担していただくことで、高額な初期費用を必要としない価格体系を実現した。これにより、持続的な発展が見込まれる。北陸地域では1年以上の運用が継続している。
他地域への横展開	現在は北陸3県を対象としてシステムを運用開始しており、120の企業（212名）と9の大学（86名）が利用者である。利用者の企業は製造業、情報通信業、農業、林業、金融業、保険業、建設業、医療、福祉など多岐にわたる。今後は国内の他の地方経済圏を順次選んで全国展開していく構想である。
取組を進めるうえで苦労した点	普及させるために商議所の会合などで合計15回の説明会を開催し、各大学にも先生に利用を促進してもらうよう合計12回訪問した。また、問い合わせサポートの回答を1営業日以内に返答するようにし、ホームページやメールマガジンで使い方を毎月1回以上に訴求した。
取組の成果を上げることが出来た秘訣・工夫	2021年から、当社地元の富山大学・富山県立大学に共同企画者として参画していただいた。特に、『企業のニーズを先に聞き、それに基づいて大学内の研究成果を調整するアプローチ』が効果的であった。両大学とは現在も年に2回の定例会や、相談事があれば都度、使い勝手や拡大に向けたアドバイスをいただいている。
今後の展望	北陸3県での利用率を増やすために、説明会を継続して開催している。並行して、スタートアップ企業支援での利用についての富山県との協議や、体系的な利用促進機能の追加を検討している。また、北陸地域以外の全国展開に向けた次の対象地域を選定するための検討、並びにパートナーの選定準備も行っている。